

MieMu

みえむ

三重県総合博物館
MieMu・Mie Prefectural Museum, Japan

Stegodon miensis

2017 Annual schedule



第15回企画展

きて・みて・さわって カモシカ☆パラダイス

4月15日(土)～6月25日(日)

きて・みて・さわれば知らない人も好きになる。隠れた大スター「カモシカ」の楽しくも不思議な魅力を一挙大公開！45年前の1972年、日中国交正常化の際、日本から贈られた「カモシカ」と交換でやってきた中国のジャイアントパンダのカンカンとランランも、世界の珍しい「カモシカ」の仲間と一緒に友情出演、MieMuが「カモシカ☆パラダイス」になります。「カモシカ」と自然や文化がわかる今世紀最大のチャンス！（カモ☆）

【料金】※()内は団体料金
一般：800円(640円) 学生：480円(380円)
基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,040円(830円)
学生セット券：620円(490円)
こども無料(高校生以下)



ナローゲージ(狭軌)の車両 モニ 226

第16回企画展

みんなののりもの大集合 ～この夏、三重をのりつくそう～

7月8日(土)～9月18日(月・祝)

のりものは見知らぬ場所への旅の憧れを刺激し、メカの機能美で感動をもたらします。また、通勤や通学などの日々の暮らしと密着した、欠かすことのできない存在です。三重県は、日本ののりものの歴史について、はじまりから最先端まで見ることが出来る数少ない地域です。今回は、鉄道を中心にバスや船、ロープウェイなどさまざまなのりものが大集合します。夏休み、子どもはもちろん大人も楽しんでいただける展示です。

【料金】※()内は団体料金
一般：800円(640円) 学生：480円(380円)
基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,040円(830円)
学生セット券：620円(490円)
こども無料(高校生以下)



鐔状銅製品・ガラス玉他
オニキシベ2遺跡(北海道厚真町)

第17回企画展

発掘された日本列島 2017

9月30日(土)～11月5日(日)

わが国では、毎年約8000件にも上る埋蔵文化財の発掘調査が行われています。その中から「新発見考古速報展」では、近年の調査で特に注目された旧石器時代から近代までの遺跡やそこから出土したさまざまな資料を紹介します。また、地域展示「三重を掘る！」では、三重県埋蔵文化財センター等が所蔵する考古資料の中から“これは！”という逸品を特別公開します。今年の秋は、あなたを考古学の世界にいざないます。

【料金】※()内は団体料金
一般：800円(640円) 学生：480円(380円)
基本展示とのセット観覧券
一般セット券：1,040円(830円)
学生セット券：620円(490円)
こども無料(高校生以下)



東京オリンピックデレゲーションユニフォーム

第18回企画展

2020年東京オリンピック・パラリンピックがやってくる

—秩父宮記念スポーツ博物館三重巡回展— (仮)

11月18日(土)～2018年1月14日(日)

2020年、オリンピック・パラリンピック東京大会が開催されます。4年に一度のスポーツの祭典における日本選手の活躍の歴史を、日本初のメダルをはじめ、秩父宮記念スポーツ博物館所蔵資料を中心に展示します。三重会場だけの展示内容として、三重県出身のアスリートのほか、1964年東京大会がもたらした有形・無形のオリンピック・レガシー(遺産)についても紹介します。

基本展示観覧券でご覧いただけます。
【基本展示料金】※()内は団体料金
一般：510円(400円) 学生：300円(240円)
こども無料(高校生以下)

◆交流展・トピック展 ※観覧無料

団体との交流展
よみがえる半泥子の千歳山荘展
6月13日(火)～7月2日(日)

大正・昭和期、茶陶の美の世界に大きな変革をもたらした川喜田半泥子。半泥子の創作の出発点は、津の郊外千歳山に構えた山荘です。山荘は、1915～16(大正4～5)年に整備された和館・洋館を中心建物としています。本展では、解体保存されている和館の襖や杉戸の障屏画を中心に展示し、半泥子が千歳山荘で体現した美の世界を紹介します。



千歳山荘和館 襖
(半泥子と千歳山の文化遺産を継承する会蔵)

団体との交流展
人形大使「ミス三重」90周年里帰り展
7月11日(火)～9月3日(日)

1927(昭和2)年、アメリカから贈られた「青い目の人形」のお礼に、三重の子どもたちは日本人形を贈りました。世界平和を願った人形交流から90年。県内に残る9体の「青い目の人形」とネブラスカ大学で大切に保管されてきた「ミス三重」を展示します。不幸な時代を乗り越えた「人形大使」たちから、友情と平和のメッセージを感じてください。



青い目の人形たち

三重大学との連携事業展
先っちょ志摩に生きる
9月30日(土)～12月3日(日)

三重大学と三重県総合博物館が連携して実施してきた、志摩市の「志摩半島」地域を対象とした総合調査の成果を中心に、先志摩地域の自然と歴史・文化などのかけがえのない地域資源と、その移り変わりについて紹介します。



志摩町越賀から熊野灘を望む

トピック展
くらしの道具～いま・むかし～
2018年1月4日(木)～2月16日(金)

くらしの道具のなかには、いまでは使われない懐かしいものもあります。長く丁寧に扱われてきた道具からは、ものを大切に作る心や、ものに込められた知恵や工夫が見てとれます。社会科で「昔の道具」を学習する小学生も、理解を深められる展覧会です。



寝室で使う道具

団体との交流展
日本の甲冑・武器武具の世界
～武家の装いを支えたモノづくりの伝統～
2月3日(土)～3月18日(日)

日本の甲冑(鎧兜)は、金工・漆工・染織などさまざまな日本の伝統技術を集成し作り上げられた優れた美術工芸品です。その斬新なデザインはJAPAN COOLとして、世界各国からの注目も集めています。武将たちの文化・美意識の象徴であり、実戦に即した日本のモノづくりのすばらしい伝統の証でもある武具甲冑類を、その技術とともに紹介します。



緋威大鎧
山城淀藩稲葉家旧蔵
(個人蔵)

団体との交流展
伊勢型紙の技と模様
3月15日(木)～21日(水・祝)

伊勢型紙は、着物の柄や紋様の染色に用いる型紙で、起源は平安時代にさかのぼるといわれ、江戸時代に花開きました。19世紀中～後半に西洋の工芸・デザインにも影響を与えた精巧で緻密な技や図柄の芸術性が、近年再び見直され、国内外を問わず高く評価されてきています。伊勢型紙の技と紋様に焦点をあて、伊勢型紙の紋様の数々を紹介します。

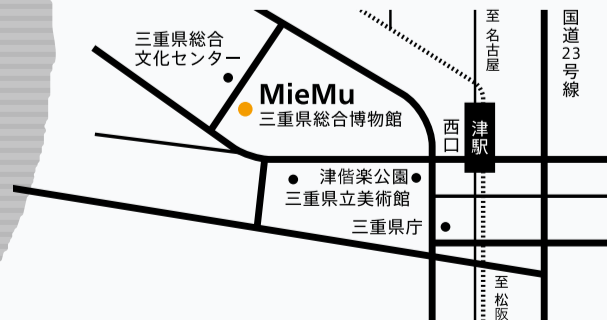


利用案内 ●開館時間

- 交流創造エリア 午前9時～午後7時(無料)
- 展示エリア 平日：午前9時～午後5時
土・日・祝日：午前9時～午後7時(最終入場は、閉場30分前まで)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/29～1/3)、その他別途定める日
- 観覧料
基本展示 一般510円(400円)、学生300円(240円)、高校生以下無料 ※()内は団体料金
企画展 展覧会ごとに別途料金を定めます。詳しくは各展覧会のお知らせをご覧ください。
年間パスポート 一般1,640円 学生1,020円
*学校の教育活動として県内の小・中・高・特別支援学校等の団体が観覧する場合、障害者手帳等をお持ちの方および付き添いの方1名の観覧は無料です。
*毎月第3日曜日は家庭の日で、正規観覧料の2割引でご覧いただけます。

交通案内 ●津駅まで

- 【鉄道】名古屋から近鉄またはJRで約1時間、大阪から近鉄で約1時間30分
津駅(近鉄名古屋線、JR紀勢本線、伊勢鉄道)西口下車
- 津駅(西口)から
【バス】三重交通バス 総合文化センター行き約5分(「総合文化センター前」下車すぐ)
夢が丘団地行き約5分(「総合文化センター前」下車すぐ)
【徒歩】約25分
- 【お車で】
【自動車/観光バス】伊勢自動車道「津IC」から約10分/伊勢自動車道「芸濃IC」から約15分
駐車場約1,400台 *総合文化センターと共用。思いやり駐車場あり。



MieMu | みえむ | 三重県総合博物館
MieMu・Mie Prefectural Museum, Japan

三重県津市一身田上津部田3060 〒514-0061
3060 Isshinden-kouzubeta Tsu, Mie 514-0061, Japan
tel 059-228-2283 fax 059-229-8310 mail MieMu@pref.mie.jp
HP http://www.bunka.pref.mie.lg.jp/MieMu/
twitter @mie_museum
facebook https://www.facebook.com/mie.pref.museum